

愛知県立芸術大学

平成 28 年度「教員による自己点検・評価シート」(自己評価) についての報告書

愛知県立芸術大学 大学評価委員会

愛知県立芸術大学(以下、「本学」と記す)では、「教員による自己点検・評価シート(以下、「自己点検・評価シート」)」を基にした自己点検・自己評価を平成 21 年度より実施しています。具体的には、年度初に各教員(客員教授を除く専任教員)が「研究活動」「教育活動」「大学運営」「地域貢献」について自身の計画・目標を立て、年度末に自己評価をするものです。

28 年度は、各教員が年度初、「自己点検・評価シート」に「計画・目標」を記載し、29 年 2 月初旬に実績・自己評価を行い、本部会に提出しました。また、29 年 3 月中旬に教員評価会議を開催し、「自己点検・評価シート」等に基づき教員評価を行いました。

■美術学部

美術学部では専任教員 47 名中(育児休業中の 1 名を除く)、44 名が「自己点検・評価シート」を提出しました。(回収率 94%)。

・研究活動

「計画・目標」…各教員は、それぞれの専門分野における研究内容や具体的な制作・研究成果の発表(展覧会・学会活動等)・科研・受託研究・助成研究・研究論文・自治体や民間企業との共同プロジェクト、フォーラム、イベントなどについて記述しています。

「自己評価」…大半の教員は、「計画どおり実行し目標を達成した」あるいは「おおむね達成した」と自己評価していますが、研究遅延のため「研究時間の確保」が今後の課題とした教員もいました。

・教育活動

「計画・目標」…各教員は、学部、大学院、他大学での授業科目、ゼミとしての取り組みや学外教育活動などについて記述しています。

「自己評価」…約 9 割の教員が計画どおり実行し目標を達成したと自己評価しています。指導学生の実績や学外での活動成果について多くの教員が記述する中で、指導の実践に伴う問題点や改善目標について記述した教員もあり、全教員が真摯に教育に取り組んでいる姿が窺われました。

・大学運営

「計画・目標」…各教員は、担当する各委員会、役目などを記載しています。ほとんどの教員は複数の委員会を兼任し、委員会にまったく関わらない教員はいませんでした。

「自己評価」…大半の教員が計画どおり実行し目標を達成したと自己評価しています。また、大学創立 50 周年記念事業、展覧会や講演会などには、ほとんどの教員がその運営に関わりました。なお、若干ですがこれにより業務が多忙になり、教育活動、研究活動に支障があったとする記述もありました。

・地域貢献

「計画・目標」…各教員は、各種の審査委員、学外講師・講演、展覧会企画・運営、サテライト講座、文化財調査、文化財団などの委員、ギャラリートーク(アーティストトーク)、ワークショップ、国際交流、地場産業との共同開発、都市計画アドバイザーなど、様々な形で地域貢献について記述していますが、僅かながら具体的な記載のない教員がいました。

「自己評価」…大半の教員がその実績について記述し、計画どおり実行し目標を達成したと自己評価しています。

■音楽学部

音楽学部では専任教員 35 名中（休職中の 1 名を除く）、33 名の教員が「自己点検・評価シート」を提出しました（回収率 97%）。

・研究活動

「計画・目標」…各教員は、それぞれの専門分野における研究内容や具体的な創作・研究・演奏会・学会活動・執筆・プロジェクトなどについて記述しています。

「自己評価」…大半の教員が「予定通りおこなった」あるいは「おおむね達成した」と自己評価しています。教員の多くは、複数の研究活動について個別に評価・記述していますが、一部、研究に取り組むための十分な時間や環境の確保が困難であった等、厳しい自己評価をした教員もいました。

・教育活動

「計画・目標」…ほとんどの教員は、学部・大学院、他大学での教授科目の内容と目標を記述しています。

「自己評価」…9 割程度の教員が「計画どおり実行し目標を達成した」「概ね達成した」と自己評価していますが、新たな教育活動への取り組みを企図するも委員会や学内業務の多さから「達成半ば」「時間不足」として、教員が根幹の実技指導に真摯に取り組む中、現場での教育の難しさを指摘する記述もありました。

・大学運営

「計画・目標」…各教員は、担当する各委員会、役目などを記載しています。ほとんどの教員は複数の委員会を兼任し、委員会にまったく関わらない教員はいませんでした。

「自己評価」…大半の教員が、計画どおり実行し目標を達成したと自己評価しています。教員の多くは、委員会を兼務しており、また創立 50 周年記念事業のコンサート・催しに関わったことから時間捻出の工夫に努める姿が窺われました。

・地域貢献

「計画・目標」…各教員は、コンクール審査委員、学外講師・公演、演奏会企画・実行委員、文化団体主催講座、行政機関諮問委員、ワークショップなど、様々な形で地域貢献について記述していますが、僅かながら具体的な記載のない教員がいました。

「自己評価」…9 割近くの教員が計画どおり実行し目標を達成したと自己評価しています。

■まとめ

本学の教員評価規程に則って、平成 29 年 3 月 16 日に開催された「平成 28 年度教員評価会議」において、「自己点検・評価シート」を主たる資料として当該年度の教員評価対象者が選考され、22 名（美術 12 名、音楽 10 名）の教員が今年度の教員評価対象者として選出されました（評価対象者は全教員の 26.5%）

「自己点検・評価シート」の記入は平成 21 年度から始まりましたが、8 年を経て記述の内容・分量などは充実し、また提出期限などもほぼ遵守されています。こういったことから各教員が自身の活動を大学における職務に生かすために点検・評価し、自己の向上と大学の質の保証に努めるという「教員による自己点検・評価」の取り組みは定着してきていると考えます。